(株)ユニマットライフ 一般事業主行動計画

次世代支援・女性活躍推進 一体型(2025/4/1~2027/3/31)

社内における次世代育成支援および女性活躍推進と継続就業者の増加を目標に、ワークライフバランスを確保しながら子育てと仕事の両立支援を具体化するため、次のような行動計画を策定する。

◇計画期間

令和7年4月1日 ~ 令和9年3月31日

◇当社の課題分析

業務効率化と併せて人事制度による全社的取り組みを図り、従業員のワークライフバランスを確保しながら子育て支援の強化を図り更なる改善を進める。特に男性育休の取得率が低調なため、取得支援、体制強化を図る。また、当社内のダイバーシティ推進プロジェクトなどにおいて、参加メンバーから妊娠、出産、子育て時における支援制度が整備されているにもかかわらず、それが十分に周知されていないため、従業員全体での制度理解、認知が低いとの意見があり、より積極的な支援制度の周知と利用者の拡大が必要である。

◇目 標

従業員が仕事と子育てを両立することができ、長期間にわたり会社で活躍できる環境を整備することによって、すべての従業員がその能力を十分に発揮できるために以下の行動計画を 策定する。

目標 1: 育児・介護に関わる従業員を支援できる制度導入を実施する他、ワークライフバランスの実現により従業員が働きやすい環境を整備し、離職率 9%を実現させる。 (2023 年 3 月時点 離職率 13%)

<取組内容>

- ・2025年4月 看護休暇(育児)の救済措置(有休化)制度化
- ・2025年6月 取得状況を分析して改善すべき内容について検証する
- ・2025年8月 育児休業取得者(男性・女性)の座談会の企画検討
- ・2025年10月 育児休業取得者(男性・女性)の座談会の実施
- ・2025 年 11 月 座談会の情報を全社共有して、育児休業取得の制度理解を深める
- ・2026年4月 取得状況を分析して改善すべき内容について検証する
- ・2026 年 6 月 前年までの取得状況取り組みを全社共有し、育児休業取得、制度への 理解を深める
- ・2027年1月 前年度までの取得状況を踏まえた規程・制度の改正検討

目標 2: ルートセールス職の業務分業化および女性活躍推進を目的に、新職種を設置する等、 女性管理職比率の向上を実現させる。

<取組内容>

- ・2025年4月 新職種の検証・改善確認案の検証
- ・2025年6月 新職種の推進策について検討とマニュアル整備検証
- ・2025年9月 対象者・対象部門にヒアリングを実施し新職種の検証・改善確認
- ・2025年10月 新職種の活躍推進の実施とマニュアル化整備
- ・2025年12月 新職種の活躍推進の実施継続、検証
- ・2026年4月 マニュアル制定、新職種の活躍推進の実施継続、検証
- ・2027年3月 新職種の検証・改善確認により改善策検討し定着化を促進。
- 目標 3:「バイザー、ルートセールス職」の残業時間を月平均 5%削減する。

<取組内容>

- ・2025 年 4 月 直近年度(2024.4~2025.3)の雇用区分ごとの残業実績を算出
- ・2025年6月 残業改善案のヒアリングを実施し、具体策を検討
- ・2025 年 8 月 残業時間削減に向けた具体策の導入・実施 (ノー残業 DAY、勤務間インターバル、好事例共有など)
- ・2026年3月 取組内容、残業時間削減実績について結果検証により改善策検討
- ・2027 年 3 月 取組内容、残業時間削減実績について結果検証により改善策検討。
- 目標 4:出生時育児休業を含めた男性育児休暇取得率(50%)を目標に、産前産後休業や育児休業(出生時育児休業含む)、育児休業給付、育休中の社会保険料免除、社内での申請や相談窓口などの制度の周知や情報提供を、全社員に向け周知し、認知度および制度活用の促進を行う。

<取組内容>

- ・2025年4月 男性育児休業取得率 (24.04~25.03) を集計、検証し改善策を検討。。
- ・2025 年 6 月 社内プロジェクトにて、各種制度の認知についてヒアリングを実施
- ・2025年10月 各制度についての全社周知啓蒙活動を継続的に実施
- ・2026年3月 男性育児休業取得率(25.04~26.03)を集計。
- ・2026年4月 男性育児休業取得率(25.04~26.03)を検証し改善策を検討。
- ・2026 年 7 月 ヒアリング結果を受けて、具体的な社内周知策(定期)を検討 併せて、男性育児休業取得の阻害要因を分析し善処策を策定する
- ・2027年3月 男性育児休業取得率(26.04~27.03)を集計。